

勤務環境改善NEWS

17号

～秋田県社会保険労務士会アドバイス～ 宿日直許可申請に関するQ&Aについて

医療労務管理アドバイザー 社会保険労務士 高田 諭

宿日直許可を取得すると、許可を受けた業務を行った時間は時間外労働として扱う必要がなくなりますが、宿日直許可の取得には様々な要件（例えば、宿直室の整備／宿直手当の額等の院内規定の整備／許可申請業務に従事する従業員の勤務実態の把握など）をクリアする必要があります。

当センターでは、関係行政機関と連携して許可取得を目指した支援や助言を行っており、本号では医師の宿日直許可申請に関するQ&Aを作成しましたので、ご参考としていただければ幸いです。

Q 1. 宿日直許可の取得が必要なのは、どのようなケースですか。

A. 冒頭に述べたとおり、宿日直許可を受けた業務を行った時間は、規制の対象となる時間外労働として扱われないため、次のようなケースにおいて必要であると想定されます。

- (1) 上限規制に対応するため（規制対象の時間外労働を縮減するため）に取得を行う場合。
- (2) 宿日直業務に従事する医師が他の医療機関からの派遣医師である場合。

⇒特に、(2)のような派遣医師が勤務している場合、派遣元・派遣先の通算した労働時間が上限規制の対象となるため、勤務実態を把握の上、必要に応じて宿日直許可の申請をお願いします。

宿日直許可の申請が必要かどうかの判断に迷われる場合は、状況をお伺いした上でアドバイス等させていただきますので、ぜひ当センターまでお問い合わせください！

Q 2. 宿日直許可の取得が必要な場合、いつまでに労働基準監督署へ申請すれば良いですか。

A. 明確な時期は定められておりませんが、上限規制が2024年4月から開始されることや、A水準か否かの判断を早期にさせていただく必要性を考慮すると、令和4年度中には申請していただくことをお勧めします。

《裏面に続きます。》

勤務環境の改善に関する医療機関からの相談をお受けします。
まずは、お気軽にお問い合わせください。

秋田県医療勤務環境改善支援センター

○勤務環境改善全般に関すること 018-860-1403

○労務管理に関すること 018-863-1777

平日 9:00～17:00

Q 3. 宿日直許可を取得した場合、宿直／日直は何回まで行わせることができますか。

A. 原則として、宿直は週1回、日直は月1回までです。ただし、医療機関の事情を考慮して例外が適用される場合があります。

Q 4. 宿直室の広さや、宿直室に必要な設備の基準はありますか。

A. いずれも明確な基準はありませんが、(1)宿直室は十分な休息が取れる広さであること、(2)設備は一例として寝具、エアコン等の空調、テレビなどが備え付けられている必要があります。

Q5. 宿日直許可に関連して、従業員の勤務実態の調査を受ける上で準備が必要な書類は何ですか。

A. 原則として所定の申請様式及び以下の①から⑦を2部提出する必要があります。ただし、労働基準監督官が調査を行う上で必要とする場合は、①から⑦の他にも提出を求める場合があります。

- ① 対象労働者の労働条件通知書、雇用契約書の写し
- ② 宿日直勤務に従事する労働者ごとの、一定期間（例えば1か月）の宿直または日直勤務の従事回数がかかるもの（宿日直の当番表、シフト表など）
- ③ 宿日直勤務中に行われる業務が発生する頻度、当該業務の内容及び当該業務に従事した時間について、一定期間の実績（または見込み）が分かる資料等（業務日誌等）
- ④ 対象労働者全員の給与一覧表（法37条の割増賃金計算の基礎となる賃金）及び宿日直手当額計算書
- ⑤ 対象労働者の給与一覧表の金額の疎明資料（賃金台帳（写）など）
- ⑥ 事業場等を巡回する業務がある場合は、巡回場所全体とその順路を示す図面等
- ⑦ 宿直の場合は宿泊設備の概要がわかるもの

<参考>

- 【「いきサポ」（厚労省HP）】宿日直許可に関する解説資料（参考事例）
<https://iryou-kinmukankyou.mhlw.go.jp/information/explanation>
- 【秋田労働局HP】断続的な宿直又は日直勤務許可申請
https://jsite.mhlw.go.jp/akita-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/hourei_youshikishu/form_00006.html

◆特例水準の指定に向けたスケジュール等について

特例水準（連携B／B／C-1／C-2）の指定に向けたスケジュールや、評価センターのリンク等を秋田県のホームページに掲載しております。

- <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/67750>

勤改センターでは、労働時間把握のためのツールを提供しております。
詳細については、いきサポ＞役に立つ情報＞国の施策情報「勤務実態調査支援ツールの提供について」をご覧ください。

<https://iryou-kinmukankyou.mhlw.go.jp/information/>

